

授業科目(ナンバリング)	薬学入門 (N4A101)			担当教員	藤田 英明・他 (オムニバス)		
展開方法	講義	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
薬学の歴史、近代薬学の成り立ち、薬と薬学の関わり、現代における医薬品の創製・生産・管理の仕組み、医薬分業の意義、チーム医療における薬剤師の役割と職能倫理、医薬産業の現況、薬事行政、薬害・薬害被害等について学び、将来、薬剤師として活躍する分野を考える基盤となる知識や考え方を修得することを目標とする。							②③⑩⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	(1) 薬学の歴史、近代薬学の成り立ち、薬と薬学の関わり、現代における医薬品の創製・生産・管理の仕組み、医薬分業の意義、チーム医療における薬剤師の役割と職能倫理、医薬産業の現況、薬事行政等について薬剤師の役割を説明することができる。 (2) 薬害被害等について学び、その特徴を説明できると共に薬害の再発を防ぐ方法等を説明することができる。				レポート	60%	
情報収集、分析力	薬害、医療倫理など薬学・医療にかかわる諸問題を考え、その問題点を指摘することができる。				レポート	30%	
コミュニケーション力	薬学や薬剤師に関係することに興味を持ち、講義に積極的に参加することができる。				授業態度・授業への参加度	10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
毎回提出される講義レポートの内容から、講義に対する姿勢や科学的根拠に基づく判断力ならびに知識の理解度を評価する。それ以外に、講義に対する積極性なども評価の対象とする。レポートに関するフィードバックはポートフォリオにて適宜行う。							
授業の概要							
講義を主体とし、配布プリント、パワーポイント等を必要に応じて使用する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、112.5分です。							
教科書・参考書							
教科書：第17改正日本薬局方解説書（学生版）（廣川書店） 参考書：新・薬学概論〔第3版〕廣部雅昭・山崎幹夫 編集（廣川書店）、 薬学概論〔第4版〕澤村良二 編集（南山堂） 指定図書：新・薬学概論（廣川書店）、薬学概論（南山堂）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
講義がオムニバス形式であるので全回出席し、質問することと毎回講義後1週間以内にレポートを提出すること。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
1	病院薬剤師 (I)	病院薬剤師への招待 (藤田・佐々木: ゲストスピーカー・実務家)	配布プリントで復習すること	8-10/16/27/31/ 34-37
2	薬局薬剤師 (I)	薬剤師の業務と心構え (藤田・田代: ゲストスピーカー・実務家)	配布プリントで復習すること	106-111
3	医薬品行政における薬剤師の役割	医薬品行政における薬剤師の役割 (藤田・本多: ゲストスピーカー)	配布プリントで復習すること	73-75/81
4	これから薬学を学ぶ者に	薬学及び薬剤師の歴史と現代における活動について(藤田)	配布プリントで復習すること	8-9/19/23-26/6 2-64
5	薬局薬剤師 (II)	漢方薬剤師の業務と心構え (藤田・平野: ゲストスピーカー・実務家)	配布プリントで復習すること	746
6	企業と人材	製薬企業が必要とする薬学生 (藤田・藤枝: ゲストスピーカー)	配布プリントで復習すること	12/1060
7	実験動物について	実験動物の種類と取り扱いについて (藤田・續: ゲストスピーカー)	配布プリントで復習すること	575-577
8	社会薬学、衛生薬学	環境保全、食品衛生などの公衆衛生にかかわる分野における薬剤師の役割 (佐藤)	配布プリントで復習すること	13/114/ 1044-5
9	日本薬局方について	日本薬局方は汎用される医薬品、医療上重要な医薬品の公的な品質基準書である「日本薬局方」について、その歴史、利用法について概説する。(大庭)	配布プリントで復習すること	88
10	何故、薬物乱用がいけないのか?	「薬物乱用は法律を破ることになるので、やってはいけない。」と考えるのは、薬物乱用の恐ろしさを理解していない。キーワードは「法律」ではなく、「脳」です。(山本: ゲストスピーカー)	配布プリントで復習すること	14/92-93/529/5 74/593/615/104 4
11	レギュラトリーサイエンスとは	レギュラトリーサイエンスの必要性和意義について (長岡)	配布プリントで復習すること	91
12	薬学教育に望むこと (I) 薬害被害者の声	子宮頸がん予防ワクチン問題に触れながら、MMR 事件について (藤田・栗原: ゲストスピーカー)	配布プリントで復習すること	16-22/89/90
13	薬学教育に望むこと (II) B型肝炎患者の声	集団予防接種等の際の注射器等の連続使用により感染被害を受けた B 型肝炎患者による患者講義 (藤田・福島: ゲストスピーカー・弁護士)	配布プリントで復習すること	16-22/89/90
14	先端医療 (I)	移植医療・再生医療の現状と問題 (岸原)	配布プリントで復習すること	453/628/734/73 7
15	先端医療 (II)	遺伝子操作と医・薬学への応用 (和田)	配布プリントで復習すること	30/57/371/372/ 733

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

\*到達目標番号と到達目標の対応は、薬学専門科目のシラバス巻末のコアカリ SBO 番号/項目対応表を参照して下さい。